

第16回「風に出あう会」

～わたしのこころとあなたのこころのバリアを取り除くために～

この催しは、「誰もが“当たりまえの暮らし”ができる社会になるように、皆のこころがさわやかな“風に出あう”ように、参加される皆様方とのふれあいが出来ますように。」と願って、年1回開催し今年が第16回目を迎えました。午後からの講演会では、続きのお話が聴きたいとお声を受けて今回も有我讓慶さんをお招きして、現在の実践の中から見えてきたものなど貴重なお話パート2を伺います。今年もまだまだ終息を見せない新型コロナウイルスをはじめ、日本の至る所で数えきれないほどの惨事が多発している暮らしの中で、思いもよらない差別・偏見等に遭遇されている人たちがいること等をも耳にします。“人は地域の中で暮らすことが当たりまえ”とされています。私たちはその当たりまえを求めて、老若男女を問わず、誰もが傷つくことのない、偏見のない社会になるよう協力し合って暮らしていけるようにと願ってこの催しを開催いたします。どうぞ皆さま、ご一緒に考える機会といたしましょう。

日時：令和3年10月20日(水)

10時30分～16時30分(開場10時)

場所：ハートピア京都 大会議室

住所：京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375番地

交通：市営地下鉄 丸太町駅下車 5番出口すぐ

費用：無料 先着順(定員50名。)

内容：午前：ワークショップ「参加者全員で千羽鶴を折りましょう!!」

昼休み：風化させてはいけないとの思いから震災に関する映像をお見せする予定です。

午後：講演会

「あなたの中の虐待度を知ろう!! パート2」

講師：有我讓慶さん

*手作り小物など事業所の作品販売を予定しています。

※新型コロナウイルス感染防止を図るために、参加される方は必ずマスクの着用をお願いいたします。裏面に注意事項がございます。

※新型コロナウイルス感染症に係る京都府緊急事態措置中は、感染拡大防止のためにイベント等を自粛(中止)いたしますので、あらかじめ御了承ください。

有我讓慶(ありがじょうけい)さんのプロフィール



1955年生まれ、精神科看護師。大阪府高槻市にある民間精神科の光愛病院に長年勤務後、現在は西院にある訪問看護ステーションチャオで訪問看護。

大阪精神医療人権センターの発足時より電話相談など、精神障害者の権利擁護の活動に関わり、現在は理事の一員。

2009年、精神科病院を廃止したイタリアのトリエステ精神保健視察で衝撃を受け、以降、大熊一夫さんらとトリエステ精神保健局の人達との来日公演会などに関わる。

主催 京都市精神保健福祉ボランティア連絡協議会 風のリンケージ・京都市

<問合せ先>京都市精神保健福祉ボランティア連絡協議会「風のリンケージ」事務局

京都市こころの健康増進センター相談援助課内

〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30

TEL075-314-0355 FAX075-314-0504



申込み不要です。どなたでも皆さまお誘い合わせの上で参加ください!

シルバリーボニキャンパス

有我讓慶さん 講演会

日時：令和3年10月20日(水)

10時30分～16時30分(開場10時)

場所：ハートピア京都 大会議室・他 費用：無料(先着順50名)

午前：ワークショップ「参加者全員で千羽鶴を折りましょう!!」

午後：講演会

「あなたの中の虐待度を知ろう!!パート2」

シルバーリボンをご存じですか？

シルバーリボンは、脳や心に起因する疾患(障がい)およびメンタルヘルスへの理解を促進することを目的とした運動のシンボルです。

シルバーリボン運動は、1993年に米国カリフォルニア州で産声を上げました。長男が統合失調症を患い、その病と周囲からの無理解や偏見に苦しんだジーン・リーシェー氏が、統合失調症に対する理解を求めて手作りの銀のリボンを配ったことが始まりです。

それから9年後の2002年、シルバーリボン運動に大きな転機が訪れます。統合失調症を罹患しながらもゲーム理論の研究を行い、ノーベル経済学賞を受賞して、同じ病気で苦しむ方々に希望や勇気をもたらしたジョン・ナッシュ氏をモデルとした映画「ビューティフル・マインド」の監督ロン・ハワード氏が、アカデミー賞授賞式でオスカーを掲げながら、胸に輝くシルバーリボンをアピールしました。

シルバーリボン運動はそれをきっかけに、同年誕生した日本事務局を筆頭に、後にメキシコやシンガポールなど世界各国に広がっていきました。

「脳や心に起因する疾患(障がい)への理解ある社会の実現を目指す」、私たちシルバーリボンジャパンは、その理念を掲げて啓発活動を展開しています。

日本においても、精神保健福祉ボランティア活動のあらゆる場面において紹介され、拡がりを見せるようになりました。

このキャンペーンを行うことで、ひとりでも多くの人に、このリボンをつけてもらい、偏見や差別のない社会の実現を目指すことに貢献したいと考えています。

どうぞ、あなたもシルバーリボンを毎日、胸につけてください！

SILVER RIBBON CAMPAIGN
for the Brain
IN JAPAN

Since 1993

Buzz Aldrin
Tipper Gore
Ron Howard

...あなたの胸にシルバーリボン...
脳に障害がある人への偏見をなくすために、あなたにできること
(シルバーリボンキャンペーンはボランティアによる非営利活動です)

SILVER RIBBON CAMPAIGN
FOR THE BRAIN
IN JAPAN

Each Us

空を飛ぶ 鳥たちは
人間を
障害者と思うだろう
でも空を飛べなくたって
みんなで協力しあえば
人間って
けっこう 楽しい
空は飛びたいけれど・・・

注意：新型コロナウイルス感染予防のため、以下の点について、あらかじめ御了承ください。

- ・参加者の把握のため、受付時に氏名・連絡先の記入をお願いします。
- ・当日はマスク着用(各自で御持参)・手指の消毒・物理的距離の確保に御協力ください。
- ・発熱・咳等の症状がみられる場合には出席をご遠慮いただきますようお願いいたします。
- *上記にご協力いただけない場合、当日受付で参加をお断りすることがあります。

***新型コロナウイルス感染症に係る京都府緊急事態措置中は、感染拡大防止のためにイベント等を自粛(中止)いたします。**